

平成30年6月6日
東部農林振興センター出雲事務所農業普及部

標 題	出雲農林高校がグローバルGAP取得に向け始動
-----	------------------------

(ダイジェスト)

県立出雲農林高校では、ぶどうのグローバルGAP取得を目指し、5月28日から30日の3日間、専門家による事前研修を受けました。

研修では、食品科学科の生徒16名が、GAPの意義や目的について説明を受けた後、グローバルGAPの管理基準と実際の管理状況の比較や、現地確認が行われました。

県立出雲農林高校では、これまで、「ハマボウフウによる海浜の再生」等、地域と協働した授業・研究活動による人材育成、地域貢献、食農活動等に取り組まれてきました。

さらに、今後はGAPによる農業技術力や企画力の向上・環境保全・6次産業化等を、総合的に進めることとされ、ぶどうでグローバルGAPの取得が計画されています。

当校では、島根県独自の美味しまね認証をぶどう、トマトで既に取得され、GAPは実践中ですが、グローバルGAPの理解を一層深めるため、5月28日～30日の3日間、専門家による研修が開催されました。

食品科学科の生徒16名が出席し、GAP意義と必要性、リスク評価と管理計画の作成、各種計画・証拠書類・記録の作成等について学び、現地確認により助言を受けました。

この研修をスタートとし、9月の審査に向けて生徒主体で準備されますが、普及部は関係機関・団体と連携しながら、支援します。

注) 美味しまね認証

島根県独自のGAP基準を実践していることを、知事が認証する県GAP認証



(講義)



(現地確認)